学校番号	1015

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	(学)IT ビジネス応用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	キタミ式イラスト塾 IT パスポート令和０７年（株式会社技術評論社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、数種類ある情報処理技術者試験の中で最も初級の試験であるＩＴパスポート試験の内容を網羅していきます。専門用語が多く、内容は複雑です。また、用語だけではなくシステムの稼働率などを求める計算問題もあります。授業時間だけでなく過去問を解くなど予習復習をしてください。
・授業中のプリントについては板書を書き写すだけでは不十分です。先生が話す内容や授業のポイント、自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをプリントの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
新しい技術や IT 知識、マネジメント関連の知識など幅広い分野の総合的知識を身につけ、情報技術の発展と社会の変化について理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
IT を正しく理解し、効果的に IT を利活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報 社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	IT を利活用するための知識について理解し、技能を身につけているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的かつ協働的に情報と情報技術を活用し、主観的・客観的に評価し改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	セキュリティ	1 ネットワークに潜む脅威 2 ユーザ認証とアクセス管理 3 コンピュータウィルスの脅威 4 ネットワークのセキュリティ対策 5 暗号化技術とデジタル署名	a:暗号化や電子署名の仕組みについて理解している。 b:公開鍵暗号方式が共通鍵暗号方式よりも安全である理由について考察している。 c:情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用しようとしている。	確認テスト 小テスト	確認テスト 小テスト 提出 プリント レポート	提出 プリント レポート
	データベース	1 DBMSと関係データベース 2 主キーと外部キー 3 論理演算でデータを抜き出す 4 排他制御 5 トランザクション管理と障害回復	a:データベースの基礎的な知識を理解している。 b:データの管理について、論理演算や正規化を考え、データを抜き出すことができる。 c:障害が起こった際に、解決する方法をもって解決しようとしている。	テスト 小テスト	テスト 小テスト プリント レポート	プリント レポート
2学期	プログラムの作り方	1 プログラミング言語とは 2 変数 3 構造化プログラミング 4 アルゴリズムとフローチャート 5 代表的なアルゴリズム 6 データの持ち方 7 プログラムの作成	a:プログラミング言語、変数などプログラムを作るうえで必要な基礎的な知識を理解している。 b:プログラミングにおいてそれぞれの構造を理解し、自らフローチャートを作成することができる。 c:学んだ知識を活用し。主体的に疑似言語を読み解こうとしている。	テスト 小テスト	テスト 小テスト プリント レポート パフォーマンス課題	プリント レポート パフォーマンス課題
	企業活動と関連法規	1 企業活動と組織のかたち 2 電子商取引 3 経営戦略と自社のポジショニング 4 外部企業による労働力の提供 5 関連法規	a:企業活動に関する語句や関連法規などを理解している。 b:法規から、各事象についての権利を判断することができる。 c:企業活動と組織について、理解を深めようとしている。	プリント	プリント レポート	プリント レポート

3学期	システム開発	1 システムを開発する流れ 2 システムの開発手法 3 業務のモデル化 4 コード設計と入力のチェック 5 テスト	a:システムを開発するうえで必要な流れと手法について理解している b:システム開発の設計を表現することができる。 c:プログラムを作るうえでのシステム開発についての知識を深めようとしている	テスト 小テスト	テスト 小テスト プリント レポート	 プリント レポート
	経営	1 PDCA サイクル 2 グラフ 3 マーケティング	a:マーケティングの仕組みを理解する b:顧客のニーズを理解し、アンケートの作成、調査、分析を行うことができる c:PDCA サイクルを活用し、より最適な手法を考えることができる	プリント レポート	プリント レポート パフォーマンス課題	プリント レポート パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度